

調査探究活動発表会

令和6年2月9日(金) 13:00~15:30 町田高校 体育館

- ◆ 2学年全員、80グループによる「ポスター発表」です。
- ◆ 1回15分程度の発表を、順に各4回行います。
- ◆ 参観者は、自由に発表を見学し、気軽に発表者への質問ができます。



発表会に寄せて

学校長 南斉 道雄

本校における「調査探究活動発表会」は今年で7回目となり、年々充実の一途をたどっています。1年生では探究活動の基礎について学び、2年生では生徒それぞれの興味関心に基づいて80のグループに分かれて活動します。身近な研究テーマを設定し、課題に対して仮説を立て、実験や調査・アンケート等を通じて検証を行い、その結果を考察した結論を論文の形にまとめます。近年重視されるようになってきた大学入試の総合型選抜にも十分に対応できる形式です。

本日はこうしてまとめられた論文をもとに、ポスター発表を行います。1年間の探究活動の成果について発表するとともに、要点を相手に的確に伝えるプレゼンテーションの実践の場でもあります。発表する生徒だけでなく、それを視聴する生徒との積極的な質疑応答が繰り返されれば、探究活動はより一層深まることになるはずです。参加する全員にとって充実した時間となることを期待しています。

探究委員長 2年8組 中野 彩弥

いよいよ4月から1年間進めてきた探究活動の発表会当日です。一年生の時とは異なり興味のある学術が同じ生徒同士で班になり、協力しながら探究を進めてきました。文部科学省によると総合的な探究の時間は「変化の激しい社会に対応して、探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成すること」が目的です。私たちは学校外での調査や似た探究テーマの班が集まり話し合うゼミの場を通して互いに探究を深めあい、様々なスキルをつけてきたと思います。この発表会では今までの成果を相手に発表するだけではありません。お互いの発表を見ることでより探究を深め、新たな視点や知識、考えを見つけられることができれば幸いです。最後までお楽しみください。

発表テーマと概要

奇数組奇数班・偶数組偶数班(黄色) ①13:10～ ③13:40～ ⑤14:15～ ⑦14:45～
 奇数組偶数班・偶数組奇数班(水色) ②13:25～ ④13:55～ ⑥14:30～ ⑧15:00～

組	班	テーマ	概要
1	1	食事による運動能力の変化	食事制限・摂食障害などの社会問題を解決するために運動能力と摂取する食事やカロリーの関係についてまとめ、適切な食事法について提案する。
	2	未来への挑戦:東京都立町田高等学校倍率向上プロジェクト	東京都立町田高等学校の倍率の向上を目指し、インタビューなどの調査の結果から多種多様な解決案を提案する
	3	スポーツにおけるルーティーンのもたらす影響	私たちはルーティーンとパフォーマンス発揮の関係性について探究しました。町高生の声を実際に集めて調査し、日常生活に生かす方法を提案します。
	4	パブリックアート ～町田高校をアピールするアート～	パブリックアートの存在意義をもとに、町田高校をアートで効果的にアピールする。
	5	AIで生成された画像の権利	昨今のAIの進歩によって様々なことが可能になった反面、様々な問題も起きている。そこでAI生成物に注目し、AI生成物の権利問題について調査し、今後どのように変化していくべきかを提案する。
	6	売れる本の特徴	若者の本離れに着目しより本を手にとって貰えるように効果的な本の売り方や工夫を観察、インタビューをしてその結果から売れる本の特徴の考察をする。
	7	持続可能な食事について	皆さんは昨日何を食べましたか。その食材はどこから来たのでしょうか。私たちは持続可能な食の創造を目指して様々な食文化を探究しました。
	8	風刺画が歴史的資料として重宝される理由	風刺画がなぜ教科書にたくさん掲載されているのか」という疑問から風刺画が古くから人々の間で歴史的資料として重宝されている理由を考察する。
	9	日本の教育問題	近年問題になっている教員の多忙について、特に多忙とされている中学校に焦点を当てて、探究しました。実際の中学校の教員の声をもとに教員の負担を軽減する方法を提案します。
	10	家庭環境から迫る独裁者	独裁者の育った環境は彼らを独裁者としてしまうのか。過去の事例を振り返ることで今後に独裁者を生み出さないような結論を導く。
2	1	地方創生ー理想のまちづくりー	地方創生は将来につながる日本社会の形成及び維持していくことを目指すものである。地方創生はどのように行われるべきなのかを過去の例をもとに考え、提案する。
	2	健康食品との正しい付き合い方	私たちの健康へ効果のある商品について種類や効果について探究活動を行いました。健康食品を安全に正しく使っていくために、健康被害などの事例をふまえた上で改善策を提案します。
	3	環境にやさしい日焼け止めーサンゴ礁の生物多様性を守るにはー	日焼け止めの海への流出が環境に悪影響を及ぼしていることから、環境にやさしい日焼け止めを作り、その効果を試す実験を行った。この実験と、環境問題への意識調査の結果を踏まえ、環境にやさしい日焼け止めに提案する。
	4	品種改良による影響	品種改良のメリット、デメリットやいかにして安全に生物多様性を確保しながら品種改良により我々の日常生活を送っていくかを伝える。
	5	身近な食品ロスを減らすためには	町高生を主に対象としたアンケートを行った結果、ほとんどの人が食品ロスをしていました。これを解決するために企業で行われている対策を参考にした改善案を提案する。
	6	名前が与える印象	近年増加傾向にあるキラキラネームはどのような基準で定められているのか、自分の名前に悩み(いじめなど)を抱えている人の原因はどのようなものなのかを探究することによって、名前、特にキラキラネームによる偏見やいじめを減らせると考察した。
	7	購買意欲を誘うデザイン	色や構図について様々な観点から研究・考察し、より手に取ってもらいやすい表紙デザインを提案する。
	8	快適な生活空間について ～サードプレイスの観点から～	自宅や学校以外の居心地の良い第三の場所「サードプレイス」に着目し、実地調査、高校生を対象としたアンケートをもとに、快適な生活空間について考察する。
	9	不登校生徒について・不登校生徒を減らす	近年、不登校生徒が増加傾向にあるというニュースをよく目にする。そこでわたしは不登校生徒を減らすために実態調査をし対策を提案する。
	10	昆虫食について ～海外と日本の昆虫食文化の差異～	今日、社会問題の一つであるとされる食料問題への解決策の一つとして挙げられる昆虫食について、日本では何故広く普及されていないのかを昆虫食を日常的に食されている国々と比較して原因を考察した。
3	1	戦史から見る日本の安全保障	戦史を調査してそこから共通する原則を見つけ、日本の安全保障に活かせるかを考える。
	2	服の色と組み合わせ	服飾店でのインタビュー調査、SNSを利用したアンケート結果をもとにオシャレな服と色の組み合わせを提案する。
	3	プラスチックストローの代わりを考える	環境への配慮から、プラスチックストローの代わりに使われている紙ストロー、使いにくいですが？使いやすくゴミも出さない本当のエコストローを提案します。
	4	漫画と日本の伝統文化	衰退していく伝統文化を今人気のあるサブカルチャーと結びつけ、次の世代へと残していくための方法を提案します。
	5	AIと人間との関わり	最近流行しているAIと人間との最適な関わりを考える。
	6	流行と経済	流行という点に焦点をあて、韓流文化に対する理解を深めることを提案する。
	7	理想の水族館を考えてみよう！	水族館の職員の方への直接調査や町田高等学校の生徒へのアンケートを通し、環境面、海洋生物面、水産資源、森林資源や集客面を考えて、成り立つ理想の水族館を提案する。
	8	コロナとマスク	コロナに対する意識がどのように変わったか明らかにし、マスクの着用に対する理解を深めます。
	9	日本の英語教育	日本の英語教育について、アンケートやインタビューから得た結果をもとにグローバルな社会に対応できる力を養う方法を提案する。
	10	芸術について～なぜ芸術は残り続けたのか～	長い歴史の中で時代に合わせてさまざまな変化をしてきた芸術が人間に与えている影響についてアニメーション映画から考察し、なぜ芸術が続いてきたのかを考える。
4	1	今後生物にマイクロチップを埋め込むべきか	動物病院への調査をもとに主に震災時においてマイクロチップを生物に埋め込むことへのメリットとデメリットを提示し、ペットにマイクロチップを埋め込むという選択肢を提案する。
	2	AIイラストは絵画なのか	人間が描いた絵画と発展し続けているAIイラストそれぞれの特徴を踏まえてAIイラストは絵画と言えるのかについて調査した。
	3	恋愛と非婚化	現在、日本で非婚化による少子高齢化の問題に対し、実地調査を行った。そこから恋愛の現状を把握し、解決策を提案する。
	4	日本と海外の学校の違いー日本の学校に足りないものはー	学校生活に不満を抱くことが多い海外への留学の経験がある生徒にアンケートの結果から海外の学校生活を知り、私たちの学校に何が足りないのかを提案する。
	5	昔と今のモテる人の違い	現代の人でもわかりやすく興味を引くような疑問から歴史に結びつけることにより歴史を学ぶことについての意欲を引き出すため探究した。
	6	江戸のエコ社会	江戸のエコ技術を学び、環境問題が深刻する現代で、活かせる技術を見出し、現代と過去のエコ技術を融合したものを発案する。
	7	第一印象最強の好印象像	私たちは対人関係トラブルを解消するため、好印象を持つ見た目や言動について調べました。日常生活の様々な場面の対人関係トラブルを減少させ、円滑な人間関係構築のサポートを提案します。
	8	世界の水問題について	世界で起きている水問題や、それに対して日本が行っている取り組みについて調査し、私たちにできる取り組みに何かを実験を交えて提案する。
	9	宇宙開発の意義	なぜ人類は莫大な資金・資源・エネルギーを使ってまで宇宙を追い求めるのかについて考察し、より良い宇宙開発の方法について提案する。
	10	日本の漫画・アニメが海外にウケるわけ	国内外問わず人気の高い日本の漫画、アニメ。なぜそこまで人気なのか、海外に焦点を当ててその要因を調査し、世界に根付く文化形成のヒントを提示する。

発表テーマと概要

奇数組奇数班・偶数組偶数班(黄色) ①13:10～ ③13:40～ ⑤14:15～ ⑦14:45～
 奇数組偶数班・偶数組奇数班(水色) ②13:25～ ④13:55～ ⑥14:30～ ⑧15:00～

組	班	テーマ	概要
5	1	第一印象	見た目は第一印象を左右する要素の一つであり就職活動において重要な点である。街頭調査を行い見た目から受ける影響を研究した。
	2	未来担うニューフード	世界で起きている食糧危機を防ぐために、肉に関わる食品を提案しみなさんの食に対する意識を高める。
	3	いじめをなくすために	インタビューをもとにいじめをなくすために当事者の私たちができることを考え、提案する。
	4	AI の危険性とシンギュラリティ	シンギュラリティが起こる可能性を人々が AI に対して持つ意識や偏見に着目して考察し、AI とのより良い共生につなげる。
	5	より良い授業とは何か	アンケートより大学教授のインタビューをもとに、生徒目線で最適な授業形態を考案する。
	6	観光地活性化	川越での現地調査をもとに観光地 振興の要因や私たちが観光地にどう社会貢献できるか模索する。
	7	誹謗中傷における心理	誹謗中傷について、誹謗中傷する人の心理状態や SNS が産む影響から無意識的な誹謗中傷を防ぐ方法を提案する。
	8	健康的な体づくり	近年若者間で増加傾向にある不健康に痩せようとする事について、その原因と健康的な体づくりについて探究する。
	9	醤油の消費量の変化	醤油の消費量が減少傾向にある中でその理由を探る。また醤油を利用することのメリットを明確化し、醤油の消費量を増やす。
	10	AI と雇用	職業が AI に奪われると危惧されていることについて、AI を活用しつつ人間の雇用を守る方法を提案する。
6	1	教育格差の壁を越えろ	経済的な教育格差を解決するために、現状の政策の問題点と思われる所を見つけ、格差が生まれないようにするための3つの提案をする。
	2	脳を若々しく保つために	右脳と左脳の役割の違いを明確にし、脳を若々しく保つためにはどうしたら良いか提案します。
	3	動物実験を減らすために	私たちは動物実験の現状と実態について調査し、自分たちが予想していたものとは違った結果を得ることができました。それらを踏まえ、これからの動物実験のあり方と代替法を提案します。
	4	見て、聞いて、感じる。	商品の価格差に込められた意味を読み取り、効率的な購買活動を行う方法を提案する。
	5	より良い進路選択をするために	現在進路に悩んでいる高校生が多い。そこで選択理論心理学についてのアンケート調査の結果を用いて、満足度の高い進路選択の仕方について提案する。
	6	地球温暖化を止めるために	地球温暖化の原因に挙げられている自動車の排気ガスと自然環境との関係性を調べ、環境への負荷を減らすために、普段の生活からできることを提示する。
	7	ヒットするアニメ映画の特徴と映画館の抱える課題	ヒットするアニメ映画の特徴をジブリ映画を用いて調査しました。また、サブスクリプションの使用率と映画館需要の関係も絡めて発表します。
	8	貧困地域の現状と解決策	ユニセフハウスでの調査と生徒に行ったアンケートを元に自分たちができる身近な改善策を提案する。
	9	認知症の方の社会参加について	身近な認知症当事者と「認知症当事者を中心として全ての人が活躍できる街づくり」を目標としている D フレンズ町田の活動を調べ、そこから考えられる高校生ができることを考えた。
	10	昆虫食を食べてみよう!	アンケート調査や販売店舗での実食、インタビューの結果を通して、多くの人が昆虫食を現状より食として選択肢に加えられる方法を考察、提案します。
7	1	音楽と時間の関係	音楽の速さによって見られる体感時間の長さの傾向を調査しました。音楽の速さと時間との間に関係性を発見することで、日常生活において音楽を効果的に使う方法を提案します。
	2	人間関係における心理学の有効性	様々な人と関わる日常において、心理学を用いて相手と円滑なコミュニケーションを行う方法について提案する。
	3	学歴と就職の関係	企業への訪問調査に基づいて、学歴の就職の際の影響や提案についてまとめました。
	4	町田高校を救いたい!	町田高校の倍率や特色を他校と比較し町田高校の魅力を再認識するとともに、問題点を洗い出すことで倍率低下の原因を探る。
	5	ヒット商品から学ぶ社会の現状	インタビューの結果に基づき、現代人のニーズについて、社会の現状について調査しました。私たちはそれらに対して解決策などを提案します。
	6	現代社会における蛙化現象	昨今 SNS で度々話題になっている蛙化現象がどのようなもので、今の若者にどのような影響を及ぼしているかを研究し、モテる男&女になる
	7	地球を救うためには	森林が環境に及ぼす影響について調査した。日本の森林の活用方法について考える。
	8	より良い勉強生活のために	これから受験期に入る私たちの勉強生活において、効率の良い暗記法はないかを探究してきた。脳の仕組みを利用した暗記法について、効率重視のものを提案したい。
	9	海洋の環境問題	マイクロプラスチックを様々な視点から関連性を調査し、目に見えない問題について考察した。問題を可視化することや、「ゴミはゴミ箱に捨てる」という基礎的なマナーを常に意識することを提案したい。
	10	町田高校にロボット導入!	株式会社 ZMP、お茶の水女子大学共催の新時代の人とロボットの共生についてのイベントへ取材をしに行き、そこで得た情報をもとに町田高校にロボットを導入する案を提案する。
8	1	ブラシーボ効果を使いこなす	人の思い込みによる効果という「心理学」を使って、それを学習に活かせる方法を皆さんに伝授します。ブラシーボ効果の思い込みを使って、皆さんも頭を良くしてみませんか。
	2	物価高の世の製菓企業	ペコちゃんの本音と、日本人の高品質低価格意識から見る物価高。
	3	経済的不安と未婚化の関係	少子高齢化の原因として考えられる未婚化と経済的不安について調査した。
	4	AI と失業	私たちの班は現在多くの仕事に普及している AI と教師の関連性を研究し、AI による教師の失業の対策について考える。
	5	和服の魅力	現在でも愛され続けている和服。その和服の魅力について外国人にアンケート、和服の藤木屋さんにインタビュー調査をして、考察した。
	6	最強の家の条件	まもなく起こると言われる大地震に対して備え、「震度7、縦揺れより被害が大きいと言われる横揺れの地震が起きた場合でも、完璧に無傷な家」をテーマとし研究を行った。
	7	方言がなくならないように	近年方言の消滅が懸念されている中で、私たちの班はそもそも方言を使わない人は方言に対してどう思っているかを調査し、広告を利用した方言の衰退への対策法を提案する。
	8	衝動買いの心理	皆さんは衝動買いをしたことがあるでしょうか？私たちは衝動買いによる後悔を減らしていくために、文献調査やアンケート調査を行い、衝動買いを抑制する方法を提案します。
	9	音楽とストレスの関係	ストレスが問題となっている現代社会で、音楽と運動を通して、ストレスを解消する方法を提案する。
	10	より良い食生活のために	近年日本で洋食の需要が高まった中、日本人にはどのような食生活が合っているのかを調べ、食生活の悪化による健康被害を防止するために適した食事メニューの例を提案する。

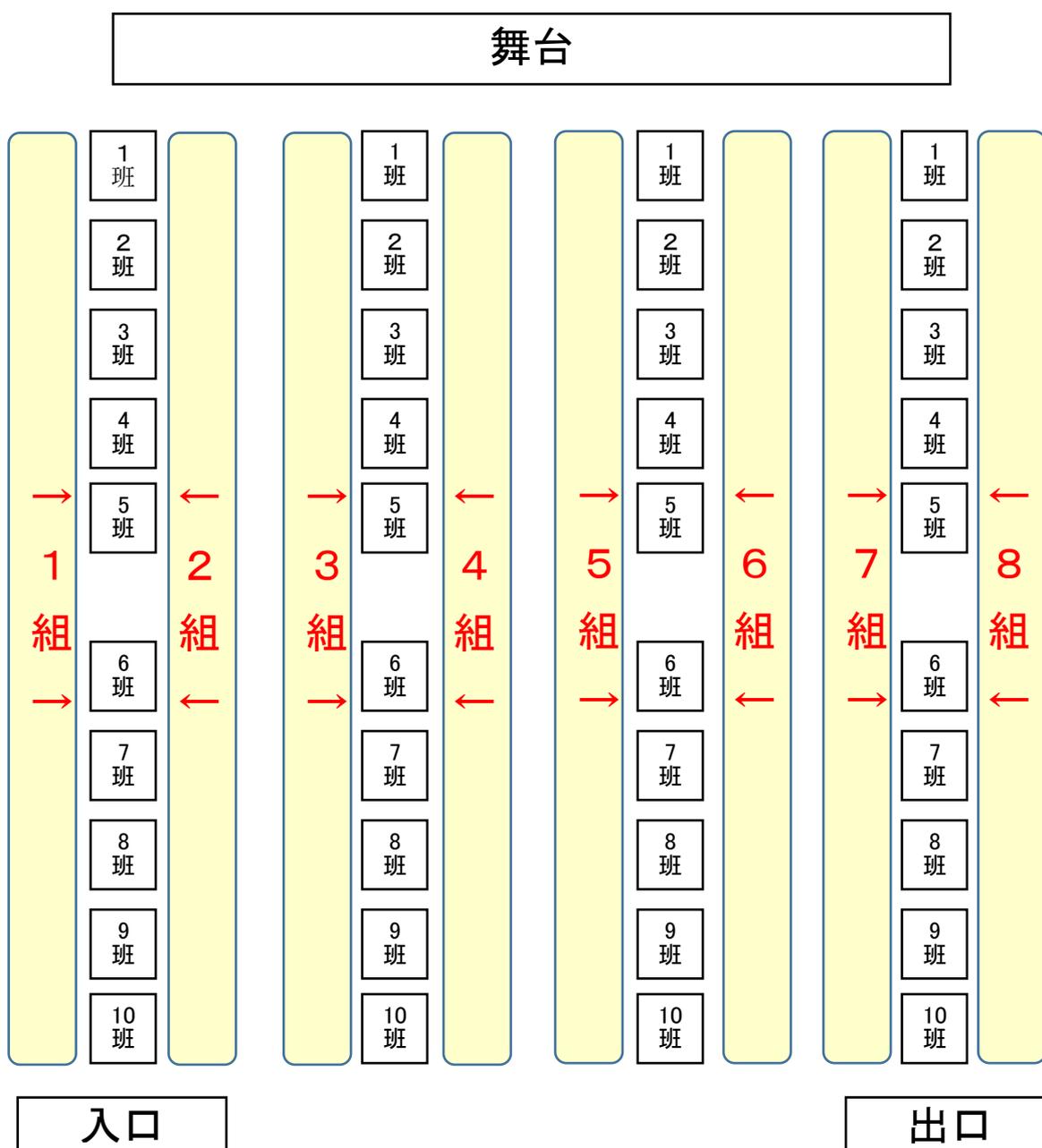
タイムスケジュール

前半	
13:00～	開会式
13:10～	① 奇数組奇数班・偶数組偶数班 1回目
13:25～	② 奇数組偶数班・偶数組奇数班 1回目
13:40～	③ 奇数組奇数班・偶数組偶数班 2回目
13:55～	④ 奇数組偶数班・偶数組奇数班 2回目

後半	
14:15～	⑤ 奇数組奇数班・偶数組偶数班 3回目
14:30～	⑥ 奇数組偶数班・偶数組奇数班 3回目
14:45～	⑦ 奇数組奇数班・偶数組偶数班 4回目
15:00～	⑧ 奇数組偶数班・偶数組奇数班 4回目
15:15～	講評・閉会式

会場内の混雑緩和のため、保護者の方は前半・後半のいずれかの時間帯での見学をお願い致します。

体育館パネル配置図



東京都立町田高等学校

〒194-0021 東京都町田市中町4-25-3

電話：042 (722) 2201

FAX：042 (724) 1330

<http://machida-h.metro.ed.jp/>